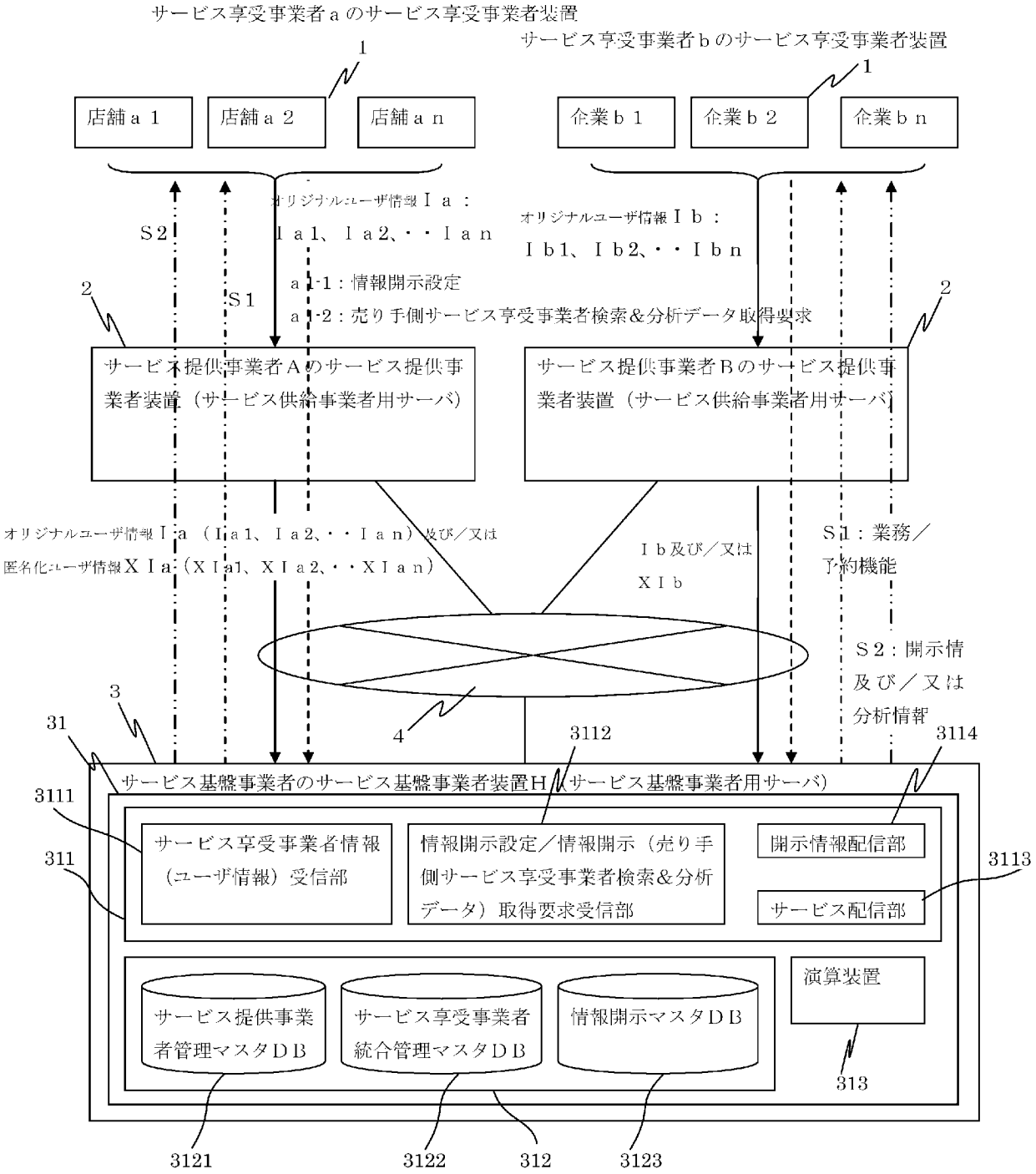
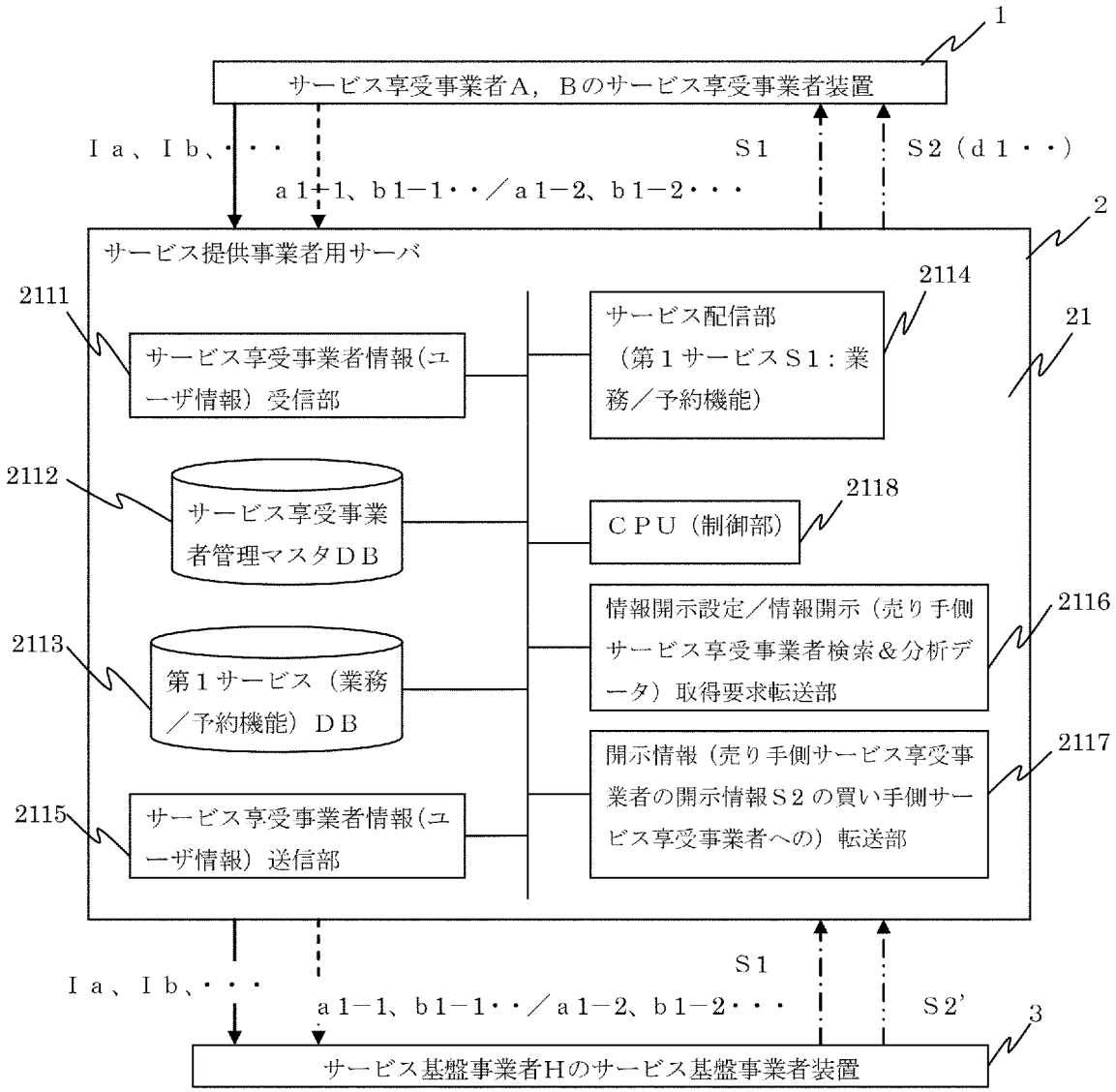
WO 2014/034269 PCT/JP2013/068507

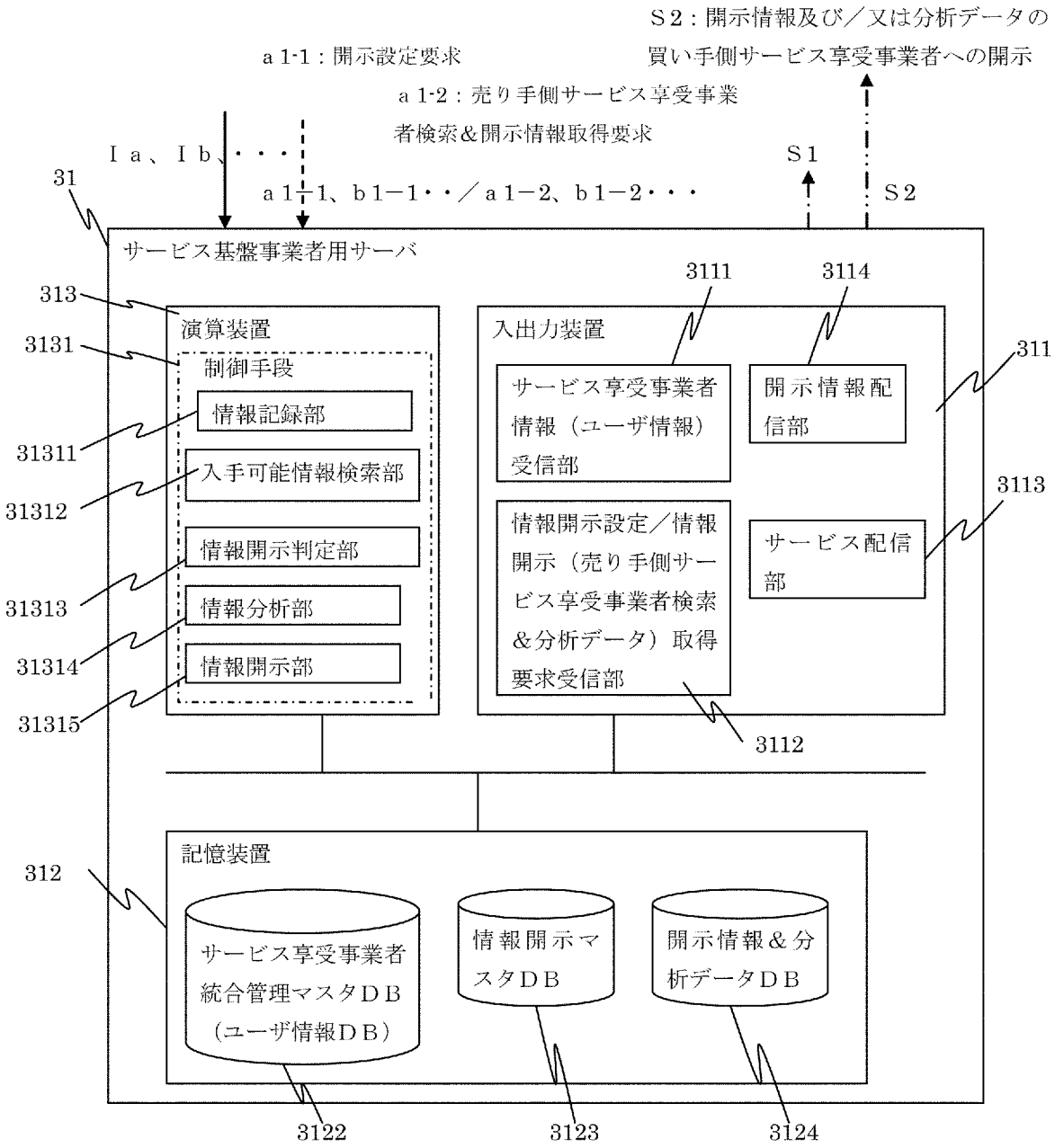
[図1]



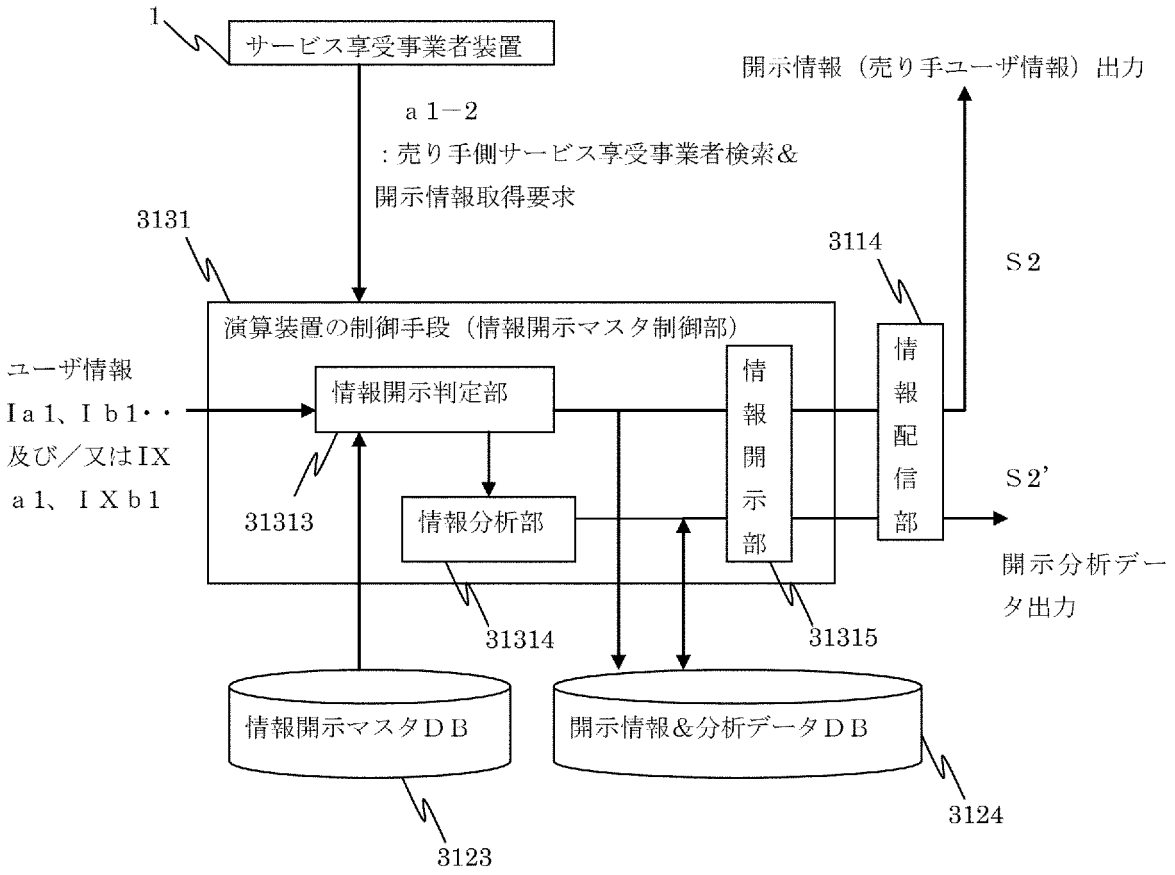
[図2]


1
サービス享受事業者A，Bのサービス享受事業者装置
Ia、Ib、・・・
a1−1、b1−1・・／a1−2、b1−2・・・
S1
S2（d1・・）
2
サービス提供事業者用サーバ
2111
サービス享受事業者情報(ユーザ情報）受信部
2112
サービス享受事業者管理マスタDB
2113
第1サービス（業務／予約機能）DB
2115
サービス享受事業者情報(ユーザ情報）送信部
2114
サービス配信部（第1サービスS1：業務／予約機能）
21
2118
CPU（制御部）
2116
情報開示設定／情報開示（売り手側サービス享受事業者検索＆分析データ）取得要求転送部
2117
開示情報（売り手側サービス享受事業者の開示情報S2の買い手側サービス享受事業者への）転送部
Ia、Ib、・・・
a1−1、b1−1・・／a1−2、b1−2・・・
S1
S2'
3
サービス基盤事業者Hのサービス基盤事業者装置

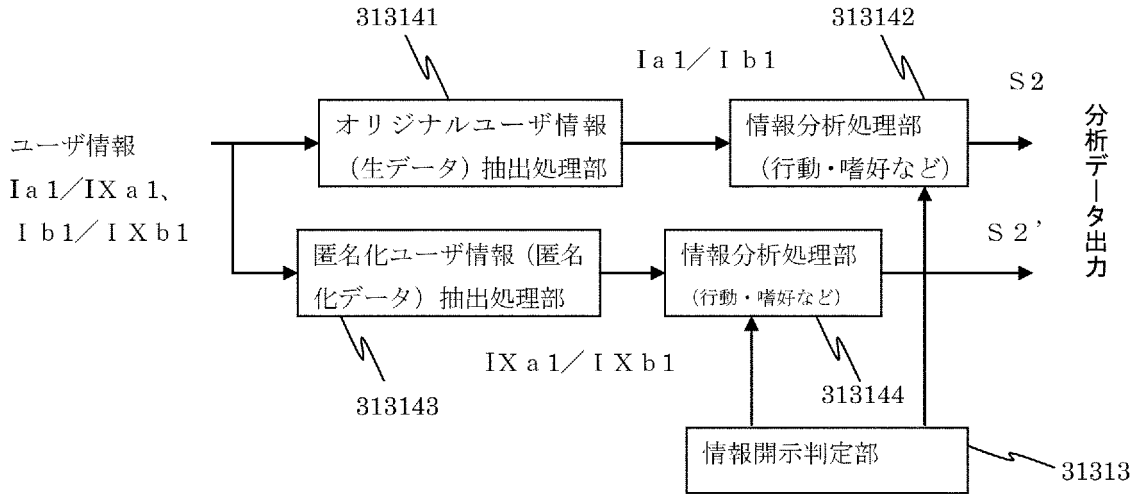
[図3]


S2：開示情報及び／又は分析データの
買い手側サービス享受事業者への開示
a1-1：開示設定要求
a1-2：売り手側サービス享受事業
者検索＆開示情報取得要求
Ia、Ib、・・・
a1－1、b1－1・・／a1－2、b1－2・・・
S1
S2
31
サービス基盤事業者用サーバ
313
演算装置
3131
制御手段
情報記録部
31311
入手可能情報検索部
31312
情報開示判定部
31313
情報分析部
31314
情報開示部
31315
3111
3114
入出力装置
311
サービス享受事業者
情報（ユーザ情報）
受信部
開示情報配
信部
3113
情報開示設定／情報
開示（売り手側サー
ビス享受事業者検索
＆分析データ）取得
要求受信部
サービス配信
部
3112
記憶装置
312
サービス享受事業者
統合管理マスタＤＢ
（ユーザ情報ＤＢ）
情報開示マ
スタＤＢ
開示情報＆分
析データＤＢ
3122
3123
3124

[図4]


1
サービス享受事業者装置
開示情報（売り手ユーザ情報）出力
a 1−2
：売り手側サービス享受事業者検索＆
開示情報取得要求
3131
3114
S 2
演算装置の制御手段（情報開示マスタ制御部）
ユーザ情報
Ia 1、Ｉb 1・・
及び／又はIX
a 1、ＩXb 1
情報開示判定部
情報分析部
情報開示部
情報配信部
S 2’
開示分析データ出力
31313
31314
31315
情報開示マスタＤＢ
開示情報＆分析データＤＢ
3123
3124

[図5]


313141
313142
Ia 1／Ｉb 1
S 2
ユーザ情報
Ia 1／IX a 1、
Ｉb 1／ＩXb 1
オリジナルユーザ情報（生データ）抽出処理部
情報分析処理部（行動・嗜好など）
分析データ出力
S 2’
匿名化ユーザ情報（匿名化データ）抽出処理部
情報分析処理部（行動・嗜好など）
IX a 1／ＩXb 1
313143
313144
情報開示判定部
31313

[図6A]

（A）開示マスタＤＢ３１２３の開示マスタテーブルＴ１のテーブルスキーム

テーブルスキーム

#	項目名	説明	ﾃﾞｰﾀｿｰｽ
1	売り手側ｻｰﾋﾞｽ享受事業者id	売り手側のｻｰﾋﾞｽ享受事業者	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者統合管理ﾏｽﾀ．ｻｰﾋﾞｽ享受者統合id
2	売り手側開示データ名	売り手側のｻｰﾋﾞｽ享受事業者が開示するデータ	―
3	買い手側ｻｰﾋﾞｽ享受事業者id	買い手側のｻｰﾋﾞｽ享受事業者	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者統合管理ﾏｽﾀ．ｻｰﾋﾞｽ享受者統合id
4	開示設定ﾌﾗｸﾞ	開示設定ﾌﾗｸﾞ	0：開示しない 1：開示する
5	料金	開示設定ﾌﾗｸﾞで「開示する(1)」に設定した場合の情報販売価格	開示しない(0)：null 開示する(1)：売り手側と買い手側で合意した価格を設定する

611 612 613 614 615

値の例

611 売り手側ｻｰﾋﾞｽ享受事業者id	612 売り手側開示データ名	613 買い手側ｻｰﾋﾞｽ享受事業者id	614 開示設定ﾌﾗｸﾞ	615 料金
a1	d1	b1	1	¥600
a1	d1	b2	0	
a7	d2	b1	0	
a7	d2	b2	1	¥500

[図6B]

（Ｂ）サービス享受事業者統合管理マスタＤＢ３１２２のサービス享受管理事業者統合管理マスタテーブルＴ２のテーブルスキーム

テーブルスキーム

#	項目名	説明	ﾃﾞｰﾀｿｰｽ
1	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者統合 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者統合 ID	基盤事業者にて全てのｻｰﾋﾞｽ事業者に属するｻｰﾋﾞｽ享受事業者を束ねて、統一的に管理するために与えるﾕﾆｰｸな管理 ID
2	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者管理ﾏｽﾀ．ｻｰﾋﾞｽ提供者 id
3	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者管理ﾏｽﾀ．ｻｰﾋﾞｽ享受者 id
4	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者管理ﾏｽﾀ．ｻｰﾋﾞｽ享受者名

621 622 623 624

値の例

ｻｰﾋﾞｽ享受事業者統合 ID	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名
t1	A	a1	和み茶屋
t2	A	a2	ｲﾀﾘｱﾝ居酒屋五反田店
t3	B	b1	惣菜工房
t4	B	b2	ｾﾗﾐ商事

621

[図6C]

（C）サービス提供事業者管理マスタＤＢ３１２１のサービス提供事業者管理マスタテーブルＴ３のテーブルスキーム

テーブルスキーム

#	項目名	説明	ﾃﾞｰﾀｿｰｽ
1	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 ID	ﾕﾆｰｸな ID を付与
2	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者名	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者名	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者の名前を登録
3	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 URL	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 URL	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者の URL を登録
4	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者住所	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者住所	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者の住所を登録

631 632 633 634

値の例

ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者名	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者 URL	ｻｰﾋﾞｽ提供事業者住所
A	飲食店の広場	http://www.food-hiroba.co.jp	東京都品川区大崎 1-1-1
B	ｵﾌｨｽ道具市場	http://www.office.co.jp	横浜市西区堤町 2-2-2

631

[図6D]

（D）サービス享受事業者管理マスタＤＢ２１１２のサービス享受事業者管理マスタテーブルＴ４のテーブルスキーム

テーブルスキーム

#	項目名	説明	ﾃﾞｰﾀｿｰｽ
1	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ﾕﾆｰｸな ID を付与
2	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の名前を登録
3	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の業種・業界情報	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の業種・業界情報	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の業種・業界情報を登録
4	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者住所	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者住所	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の住所を登録

641 642 643 644

値の例（飲食店の広場）

ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の業種・業界情報	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者住所
a1	和み茶屋	和風居酒屋	東京都中央区築地 1-1-1
a2	ｲﾀﾘｱﾝ居酒屋五反田店	洋風居酒屋	東京都品川区五反田 2-2-2

641

値の例（ｵﾌｨｽ道具市場）

ｻｰﾋﾞｽ享受事業者 ID	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者の業種・業界情報	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者住所
b1	惣菜工房	食品ﾒｰｶ	埼玉県和光市有田町１－２－３
b2	ｾﾗﾐ商事	精密機器輸出入業	横浜市港南区みなと２－１－４
b3	ﾑｰﾝﾄﾞﾗｯｸﾞ	ﾄﾞﾗｯｸﾞｽﾄｱ	東京都町田市橋の下３－１－２
b4	大海卸	海産物卸	千葉県美浜市海岸５－４－３
b5	大畑卸	生鮮野菜卸	横浜市都筑区公園前３－６－１

641

[図6E]

（E）開示情報＆分析データＤＢ３１２４の開示データ設定マスタテーブルＴ５のテーブルスキーム

テーブルスキーム

#	項目名	説明	ﾃﾞｰﾀｿｰｽ
1	項番	—	ﾕﾆｰｸな番号
2	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者	ﾃﾞｰﾀを所有しているｻｰﾋﾞｽ享受事業者	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者統合管理ﾏｽﾀ．サービス享受事業者統合 ID
3	ﾃﾞｰﾀ名	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者が持つﾃﾞｰﾀ名	—
4	ﾃﾞｰﾀｿｰｽ	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者が持つﾃﾞｰﾀのﾃﾞｰﾀｿｰｽ	—

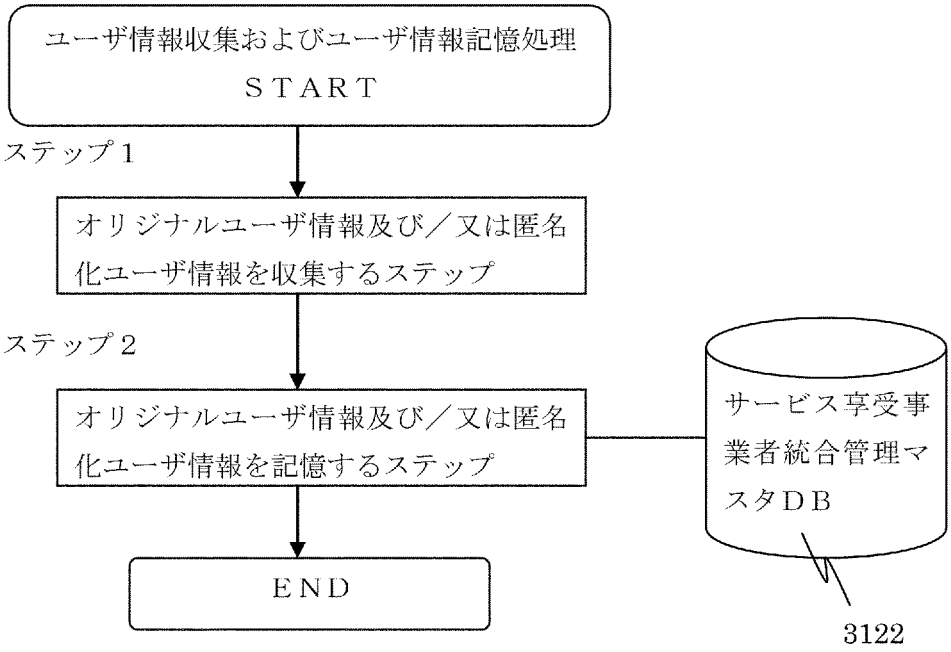
651 652 653 654

値の例

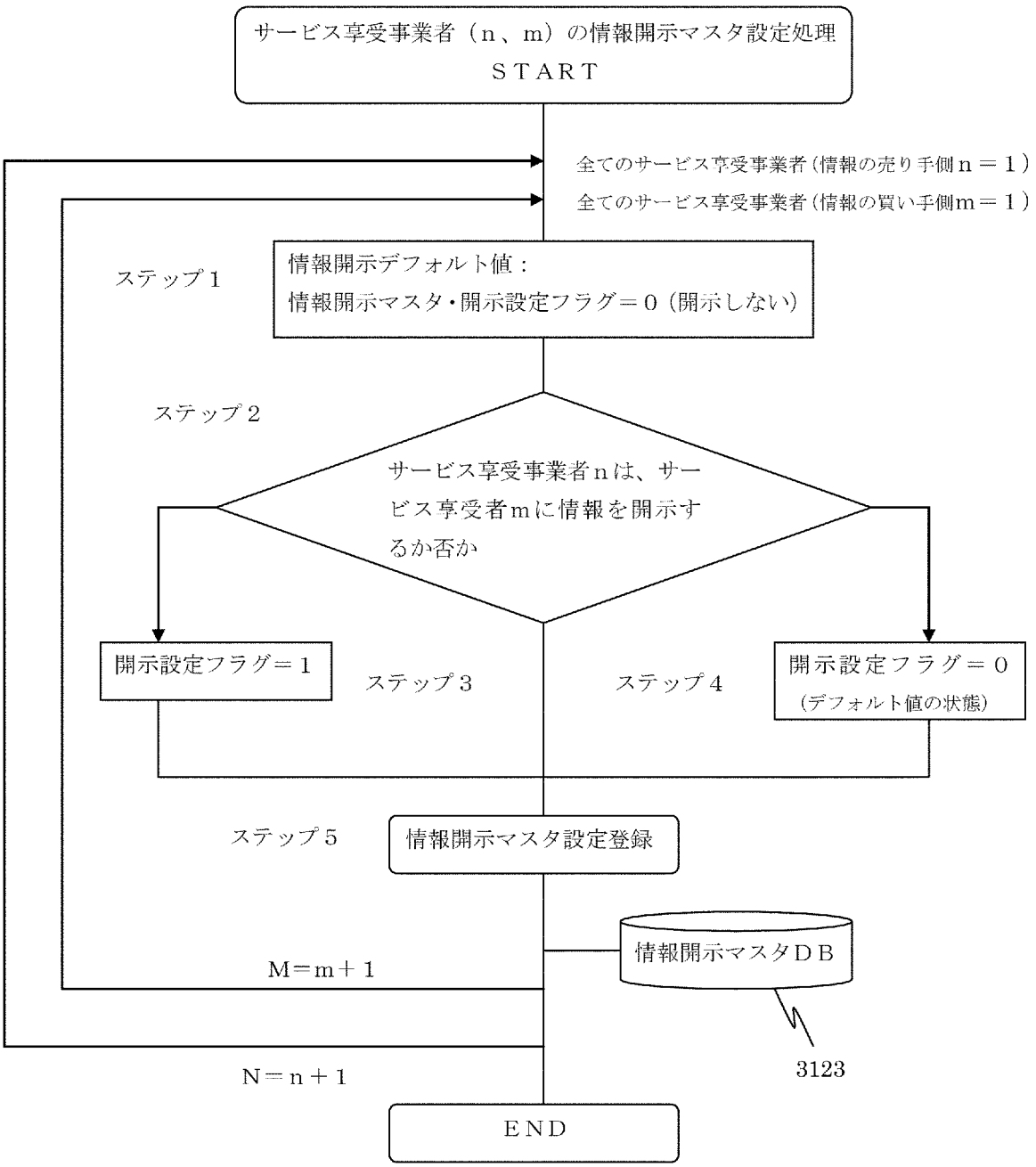
項番	ｻｰﾋﾞｽ享受事業者	データ名	データソース
1	t1	d1	t1(=a1)の売上ﾃﾞｰﾀ
2	t1	d2	t1(=a1)のﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ
3	t2	d3	t1(=a1)の匿名ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ
4	t2	d4	t2=(a2) の売上ﾃﾞｰﾀ

651

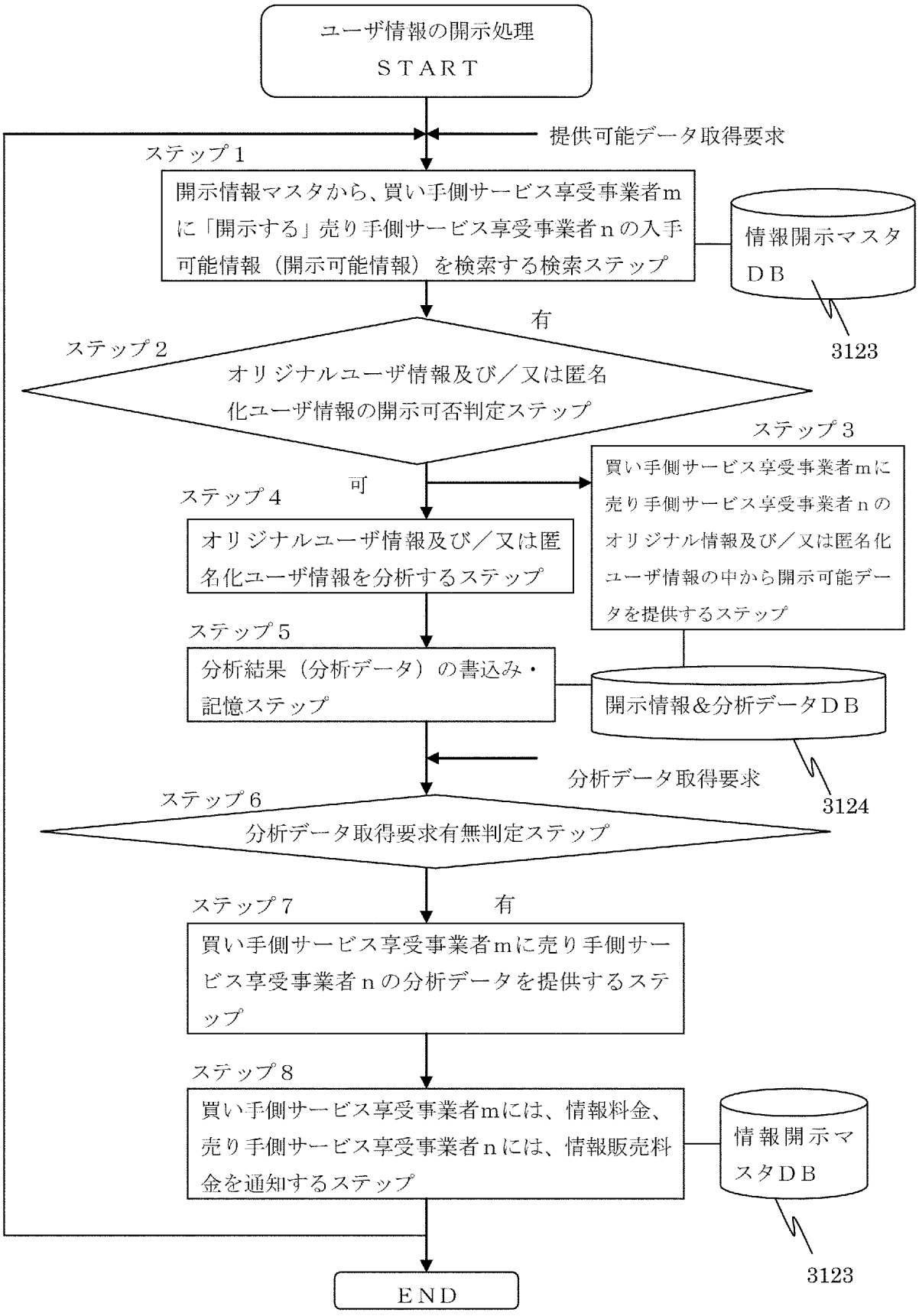
[図7]


ユーザ情報収集およびユーザ情報記憶処理
START
ステップ1
オリジナルユーザ情報及び／又は匿名化ユーザ情報を収集するステップ
ステップ2
オリジナルユーザ情報及び／又は匿名化ユーザ情報を記憶するステップ
END
サービス享受事業者統合管理マスタDB
3122

[図8]


サービス享受事業者（ｎ、ｍ）の情報開示マスタ設定処理
ＳＴＡＲＴ
全てのサービス享受事業者（情報の売り手側ｎ＝１）
全てのサービス享受事業者（情報の買い手側ｍ＝１）
ステップ１
情報開示デフォルト値：
情報開示マスタ・開示設定フラグ＝０（開示しない）
ステップ２
サービス享受事業者ｎは、サービス享受者ｍに情報を開示するか否か
開示設定フラグ＝１
ステップ３
ステップ４
開示設定フラグ＝０
（デフォルト値の状態）
ステップ５
情報開示マスタ設定登録
情報開示マスタＤＢ
3123
Ｍ＝ｍ＋１
Ｎ＝ｎ＋１
ＥＮＤ

[図9]


ユーザ情報の開示処理
START
提供可能データ取得要求
ステップ１
開示情報マスタから、買い手側サービス享受事業者ｍに「開示する」売り手側サービス享受事業者ｎの入手可能情報（開示可能情報）を検索する検索ステップ
情報開示マスタＤＢ
3123
有
ステップ２
オリジナルユーザ情報及び／又は匿名化ユーザ情報の開示可否判定ステップ
ステップ３
買い手側サービス享受事業者ｍに売り手側サービス享受事業者ｎのオリジナル情報及び／又は匿名化ユーザ情報の中から開示可能データを提供するステップ
可
ステップ４
オリジナルユーザ情報及び／又は匿名化ユーザ情報を分析するステップ
ステップ５
分析結果（分析データ）の書込み・記憶ステップ
開示情報&分析データＤＢ
分析データ取得要求
3124
ステップ６
分析データ取得要求有無判定ステップ
ステップ７
有
買い手側サービス享受事業者ｍに売り手側サービス享受事業者ｎの分析データを提供するステップ
ステップ８
買い手側サービス享受事業者ｍには、情報料金、売り手側サービス享受事業者ｎには、情報販売料金を通知するステップ
情報開示マスタＤＢ
3123
END